

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年5月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第63期第3四半期（自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社オーネックス |
| 【英訳名】 | ONEX Corporation |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 大屋 和雄 |
| 【本店の所在の場所】 | 神奈川県厚木市上依知字上ノ原3012番地3 |
| 【電話番号】 | 046(285)3664 |
| 【事務連絡者氏名】 | 経理部長 田島 圭子 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 神奈川県厚木市上依知字上ノ原3012番地3 |
| 【電話番号】 | 046(285)3664 |
| 【事務連絡者氏名】 | 経理部長 田島 圭子 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第62期 第3四半期連結 累計期間 | 第63期 第3四半期連結 累計期間 | 第62期 |
|--------------------------|------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | | 自平成24年7月1日 至平成25年3月31日 | 自平成25年7月1日 至平成26年3月31日 | 自平成24年7月1日 至平成25年6月30日 |
| 売上高 | (千円) | 3,644,887 | 3,665,247 | 4,863,631 |
| 経常利益 | (千円) | 84,024 | 47,442 | 135,768 |
| 四半期(当期)純利益 | (千円) | 33,955 | 33,055 | 81,423 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 54,246 | 39,324 | 110,301 |
| 純資産額 | (千円) | 5,042,328 | 5,087,843 | 5,098,382 |
| 総資産額 | (千円) | 7,916,284 | 7,821,345 | 7,820,294 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | 1.95 | 2.00 | 4.73 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 | (%) | 63.7 | 65.1 | 65.2 |

| 回次 | | 第62期 第3四半期連結 会計期間 | 第63期 第3四半期連結 会計期間 |
|-------------------------------------|-----|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | | 自平成25年1月1日 至平成25年3月31日 | 自平成26年1月1日 至平成26年3月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() | (円) | 0.83 | 1.01 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、情報処理事業を営んでおりました株式会社オーネックスエンジニアリングは、平成25年7月10日付で清算終了しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権発足後のデフレ脱却政策の効果および円安定着化を背景に、大企業を中心とした企業収益は改善し個人消費も持ち直すなど緩やかな回復基調が見られました。

一方で、円安による電力、ガス等エネルギーコストの上昇が続き大幅なコストアップ要因となり製造業を取り巻く環境は厳しさを増しています。また新興国の成長鈍化、世界経済の減速、政情不安、消費税増税に伴う個人消費への影響などのマイナス要因があり、先行き不透明感が根強く残っています。

このような経済状況の下で、当社グループは、受注確保並びにコスト削減に努めました。運送事業の売上が好調に推移したため、売上高は前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。一方利益面では、ガス、電力費の上昇等製造コストが上昇したことから、人件費、修繕費等の削減に努めましたが、前年同四半期連結累計期間と比較して減益となりました。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,665百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は41百万円（前年同四半期比49.8%減）、経常利益は47百万円（前年同四半期比43.5%減）、四半期純利益は33百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、円安の定着化により輸出環境は好転していますが、主力取引業界の海外生産体制は確立しており、輸出の伸びが低調であったため、工作機械業界向け売上は増加したものの、自動車・建設機械向け売上は、低調でした。

一方、ガス、電気料金の上昇等により製造コストが大幅に上昇したことから、人件費、修繕費等の経費削減に努めましたが、前年同四半期比減収減益となりました。

また風力発電については、増速機用歯車の熱処理を主に手がけており、再生可能エネルギー導入の機運は高まっているものの、北米のシェールガス等低価格エネルギー開発により発電機事業は停滞しており、当社受注も伸び悩みました。

これらの結果、売上高は3,239百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント損失は3百万円（前年同四半期は60百万円のセグメント利益）となりました。

運送事業

運送事業につきましては、道路舗装関連取引先の開拓等受注拡大に努め、機械などの重量物の搬送取り扱いが増加したため、売上は好調に推移しました。また、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の合理化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は426百万円（前年同四半期比18.4%増）、セグメント利益は33百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する分析

（資産）

資産合計は、前連結会計年度末と比較してほぼ同額の7,821百万円となりました。これは主に未収還付法人税等が82百万円、機械装置及び運搬具が112百万円減少したものの、現金及び預金が241百万円増加したことなどによるものです。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末と比較して11百万円増加し2,733百万円となりました。これは主に短期借入金金が150百万円、社債が88百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が35百万円、未払法人税等が38百万円、賞与引当金が47百万円、長期借入金金が133百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して10百万円減少し5,087百万円となりました。これは主に利益剰余金が16百万円減少したことなどによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は35百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 58,686,000 |
| 計 | 58,686,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行 数(株) (平成26年3月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年5月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 16,600,000 | 16,600,000 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 1,000株 |
| 計 | 16,600,000 | 16,600,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数(株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成26年1月1日～ 平成26年3月31日 | - | 16,600,000 | - | 878,363 | - | 713,431 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 32,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 16,495,000 | 16,495 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 73,000 | - | - |
| 発行済株式総数 | 16,600,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 16,495 | - |

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|----------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| (株)オーネックス | 神奈川県厚木市上依知字上ノ原3012-3 | 32,000 | - | 32,000 | 0.19 |
| 計 | - | 32,000 | - | 32,000 | 0.19 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

| 新役名 | 新職名 | 旧役名 | 旧職名 | 氏名 | 異動年月日 |
|-------|----------------------|-------|----------------------|-------|-------------|
| 取締役 | 事業本部副本部長兼厚木工場長、山口工場長 | 取締役 | 事業本部副本部長 | 横山 剛 | 平成25年11月1日 |
| 常務取締役 | 管理本部長兼事業本部副本部長 | 常務取締役 | 管理本部長 | 鶴田 猛士 | 平成25年11月22日 |
| 取締役 | 事業本部副本部長兼厚木工場長 | 取締役 | 事業本部副本部長兼厚木工場長、山口工場長 | 横山 剛 | 平成26年2月1日 |

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,729,713 | 1,971,095 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,622,221 | 1,589,158 |
| 製品 | 13,513 | 12,363 |
| 仕掛品 | 44,438 | 32,368 |
| 原材料及び貯蔵品 | 91,241 | 92,273 |
| 未収還付法人税等 | 82,000 | - |
| 繰延税金資産 | 6,068 | 33,693 |
| その他 | 112,444 | 123,246 |
| 貸倒引当金 | 316 | 310 |
| 流動資産合計 | 3,701,323 | 3,853,888 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 907,314 | 891,314 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 485,414 | 373,029 |
| 土地 | 1,838,851 | 1,838,851 |
| リース資産(純額) | 138,195 | 154,972 |
| 建設仮勘定 | 24,405 | - |
| その他(純額) | 101,456 | 101,492 |
| 有形固定資産合計 | 3,495,638 | 3,359,659 |
| 無形固定資産 | 183,228 | 157,524 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 193,753 | 202,323 |
| 繰延税金資産 | 126,972 | 128,848 |
| その他 | 120,622 | 119,101 |
| 貸倒引当金 | 1,244 | - |
| 投資その他の資産合計 | 440,104 | 450,273 |
| 固定資産合計 | 4,118,970 | 3,967,456 |
| 資産合計 | 7,820,294 | 7,821,345 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 331,361 | 366,511 |
| 短期借入金 | 432,454 | 281,952 |
| 1年内償還予定の社債 | 158,000 | 178,000 |
| 未払金 | 155,032 | 171,898 |
| 未払費用 | 220,798 | 225,509 |
| 未払法人税等 | 5,182 | 43,281 |
| 賞与引当金 | 19,371 | 66,558 |
| その他 | 203,208 | 123,424 |
| 流動負債合計 | 1,525,409 | 1,457,135 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 311,000 | 223,000 |
| 長期借入金 | 366,315 | 499,930 |
| 退職給付引当金 | 350,247 | 376,708 |
| その他 | 168,940 | 176,728 |
| 固定負債合計 | 1,196,502 | 1,276,366 |
| 負債合計 | 2,721,911 | 2,733,502 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 878,363 | 878,363 |
| 資本剰余金 | 713,431 | 713,431 |
| 利益剰余金 | 3,480,559 | 3,463,909 |
| 自己株式 | 4,638 | 4,797 |
| 株主資本合計 | 5,067,715 | 5,050,906 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 30,667 | 36,936 |
| その他の包括利益累計額合計 | 30,667 | 36,936 |
| 純資産合計 | 5,098,382 | 5,087,843 |
| 負債純資産合計 | 7,820,294 | 7,821,345 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 3,644,887 | 3,665,247 |
| 売上原価 | 2,748,497 | 2,787,895 |
| 売上総利益 | 896,390 | 877,352 |
| 販売費及び一般管理費 | 813,636 | 835,782 |
| 営業利益 | 82,753 | 41,569 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,681 | 3,513 |
| 受取配当金 | 1,396 | 1,516 |
| 受取賃貸料 | 5,874 | 5,801 |
| スクラップ収入 | 7,427 | 7,112 |
| その他 | 9,652 | 7,619 |
| 営業外収益合計 | 28,033 | 25,564 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16,607 | 12,839 |
| 支払手数料 | 7,406 | 6,003 |
| 社債発行費 | 809 | 809 |
| その他 | 1,938 | 38 |
| 営業外費用合計 | 26,762 | 19,691 |
| 経常利益 | 84,024 | 47,442 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 5,799 | 5,477 |
| 投資有価証券売却益 | - | 4,284 |
| 保険解約益 | 16,280 | - |
| 特別利益合計 | 22,079 | 9,761 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 650 | - |
| 固定資産除却損 | 3,420 | 132 |
| 割増退職金 | 12,154 | - |
| 特別損失合計 | 16,224 | 132 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 89,879 | 57,071 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 67,651 | 58,527 |
| 法人税等調整額 | 11,727 | 34,510 |
| 法人税等合計 | 55,923 | 24,016 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 33,955 | 33,055 |
| 四半期純利益 | 33,955 | 33,055 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 33,955 | 33,055 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 20,290 | 6,269 |
| その他の包括利益合計 | 20,290 | 6,269 |
| 四半期包括利益 | 54,246 | 39,324 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 54,246 | 39,324 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 355,571千円 | 307,745千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 平成24年9月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 52,430 | 3 | 平成24年6月30日 | 平成24年9月28日 |

当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 平成25年9月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 49,705 | 3 | 平成25年6月30日 | 平成25年9月27日 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|---------------|---------|--------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 金属熱処理 加工事業 | 運送事業 | 情報処理事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,270,065 | 359,969 | 14,852 | 3,644,887 | - | 3,644,887 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | 204,650 | 26,842 | 231,492 | 231,492 | - |
| 計 | 3,270,065 | 564,620 | 41,694 | 3,876,379 | 231,492 | 3,644,887 |
| セグメント利益又は損失() | 60,926 | 29,417 | 19,901 | 70,441 | 12,311 | 82,753 |

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額12,311千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益計 算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|---------------|---------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 金属熱処理 加工事業 | 運送事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,239,082 | 426,165 | 3,665,247 | - | 3,665,247 |
| セグメント間の内部売上高又は振 替高 | - | 192,746 | 192,746 | 192,746 | - |
| 計 | 3,239,082 | 618,911 | 3,857,993 | 192,746 | 3,665,247 |
| セグメント利益又は損失() | 3,500 | 33,436 | 29,935 | 11,633 | 41,569 |

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額11,633千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 7 月 1 日 至 平成25年 3 月31日) | 当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 7 月 1 日 至 平成26年 3 月31日) |
|------------------------|---|---|
| 1 株当たり四半期純利益金額 | 1円95銭 | 2円00銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額 (千円) | 33,955 | 33,055 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額 (千円) | 33,955 | 33,055 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株) | 17,385 | 16,567 |

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(重要な子会社の設立)

当社は、平成26年 5 月12日開催の取締役会において、下記の通り子会社の設立及び新たに工場を取得することを決議いたしました。

なお、同社の資本金の額は当社の資本金の額の百分の十以上に相当するため、当社の特定子会社に該当いたしません。

1 . 子会社設立の目的

当社グループは将来を見据えて需要地に近接した工場配置、労働力の安定確保、物流の効率化、BCP対策等を勘案し、近畿・東海・北陸エリアに近接した新しい熱処理事業拠点における受注の拡大及び新規取引先の獲得を目指し、子会社を設立することといたしました。

2 . 設立する子会社の概要

| | |
|-------|--|
| 商号 | 株式会社オーネックステックセンター |
| 所在地 | 滋賀県甲賀市甲賀町隠岐字鍛冶山田2403番12 |
| 事業内容 | 金属熱処理加工事業 |
| 資本金 | 9,500万円 |
| 出資比率 | 株式会社オーネックス 100% |
| 設立時期 | 平成26年 5 月 (予定) |
| 工場の概要 | |
| ・敷地面積 | 18,542.00㎡ |
| ・建物 | 鉄骨造地上 1 階工場 3,606.07㎡及び付属建物 2 棟 14.37㎡ |

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 5月14日

株式会社オーネックス

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古杉 裕亮 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 達也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーネックスの平成25年7月1日から平成26年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーネックス及び連結子会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、平成26年5月12日開催の取締役会において、重要な子会社の設立を決議した。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。